

ディー・ピー・エス友の会 会員限定

歴史に学ぶ維新の道

夏経営セミナー

平成30年7月

経営者（エリート層）の 在るべき維新観

人は**経験**に学び 賢者は更に栄枯盛衰の**歴史**に学ぶ

本資料・内容の無断転載・無断使用・改変はご遠慮下さい。

開業・経営リスクマネジメント
株式会社ディー・ピー・エス

代表 齋藤 忠

1. 経営の真 (1)

- ① 経営は【**筋道**】を正して営む意
筋道とは 物事を行う時の
正しい経路・過程・順序 = **道理**
筋道を学ぶには **験**(ため)す必要あり
- ② 経営を更に突き詰めていくと
経営者の人間性・人性観に行き着き
【**人間性**】を養う意義もここにあり



1. 経営の真 (2)

- ③ 人間性を養うという視点にたてば
歴史的賢者の【遺徳】である
古典古書に学ぶより道はない
というのが 人類の歴史からの教訓
今日のセミナーの主旨は 運命の
【補相学】・維新？学・改新学



2. 聖賢の千言万語 (1)

- ① 聖賢の遺徳に学ぶ意義は
外物＝拝金・拝物・【見栄】に支配
されている己の心を掴み
自分を省みて
いたらない事を省くことにある
人性は省の一字 常に省みる 三省堂？



2. 聖賢の千言万語 (2)

- ② 責任転嫁せず 己に反(かえ)り
己に尽くすことができれば
無限に人性は 進歩発展していく
これを【**自反尽己**(じはんじんこ)】という

方谷翁が塾長佐藤一斎から送られた
餞の言葉が 尽己



3. 読書（古典古書）の効用効果

- ① 書を読み学問する所以は 己の本当の心を開き 見る眼を明らかにし
実践＝実学＝経験＝【活学】することを
活発にするためにある
- ② 経験に勝る学問は無しといれる所以も
ここにあり
【座学】は一知半解の学問



4. 温故知新

- ① 孔子曰く 師＝経営者・指導者・【**両親**】
となる人の条件として 温故知新を説く
故きを温ねて新しきを知れば
以て師と為るべし
- ② 歴史・思想・古典等を研究すると
そこから 新しい知識や【**見識？**】を
得ることができる



5. 自己を大成させる要諦 (1)

- ① 孔子は【**誠**】を 神の領域の精神性と位置づけ 自己を完成させる要諦は【**誠(言+成)**】を実行することにある と
- ② 言うことには誠意あり 言った事は守り 慎み深い行動を 心掛けなければ 自己が【**完成**】しなくなる
嘘の効用を覚える年齢？



第一部

儒教の改新学 陽明学



1. 儒教儒家の系譜 (1)

① 儒教の始祖・孔子

紀元前552～479年73歳

儒学者・朱子 1130～1200年70歳

② 儒学者・高級官僚・武将

王陽明 1472～1529年57歳

十歳の時 天下第一の人物は
聖賢になること と



1. 儒家儒教の系譜 (2)

③ 儒家・陽明学者

山田方谷 1805～1877年72歳

九歳の時 何故学ぶ と聞かれ

治国平天下 と

備中聖人・備中松山藩財務大臣・

総理大臣・【**理財**】の天才・

幕末・老中板倉勝静殿の軍師

④ 師安岡正篤翁も陽明学者と 平成？



2. 朱子学の改新学が陽明学

師安岡正篤翁も 東大在学中に西洋
思想・哲学にのめり過ぎ 【鬱】状態に
幼少期から親しんだ 四書五経等に
回帰し治癒回復 ※山中教授も

齋藤説 = 要因は脳相の変化
交わる人と 読む書が変わると
脳相が変わり 志向が変わる



3. 知行合一（ちこうごういつ）

- ① 知は行の始め 行は知の成るなり
知ることは行うことの始まり
行うことは知ることの【**実成**】であり
知と行を分けてはならない
- ② 知識は行動することで会得（合一）する
陽明学は実践・経験＝【**活学**】を尊ぶ



4. 陽明の教え

- ① 医者が患者に 薬を用いるが如し
聖賢の学は 人性の【医薬品】であり
運命の処方箋
- ② 但し 病気に応じて処方しなければ
ならない 一つの処方に拘ると
患者を殺すことも少なくない



5. 中庸の修行

① 喜・怒・哀・楽の経験の中に
【中庸】の修行がある

② 不遇・不運の時の修行こそ
己を磨く道場

人間は様々な難事と取り組んで
自己を磨かなければならない
これを【事上磨錬】という



6. 孔子の正伝 陽明学

- ① 物の理を明らかにすることは
意を【誠】にする修行
善を明らかにすることは
心を【誠】にする修行
- ② 聖賢の学問に従うことは
自己の【徳性】を養う修行なり と



7・善悪 (1)

- ① 善悪は 心の好悪感情から生まれる
善悪には【意志(心)】が働き
善悪の意志が働かなければ
善も悪もない
これを【至善】といい
至善是心の本体なり と



7・善悪 (2)

- ② 二宮尊徳翁も 至誠
山田方谷翁も 至誠
孔子学の重要徳目が 誠



8. 学問の大病 (1)

- ① 学問する上で大いなる病は
【**名声(有名病)**】を好むにあり
名声と実質は対立し 名声を好む心が
あれば 実質的な修行が妨げられる
- ② 実のない名声は求めるな
内に【**徳**】を積んだ後 自然に世間に
知られるようであればならない



8. 学問の大病 (2)

- ③ 有名は無力に通じ
無名は有力に通じていく
有名病に毒されると いかなる【**名士**】
であっても 迷士になり やがて冥土に
落ちぶれ果てていく



第二部

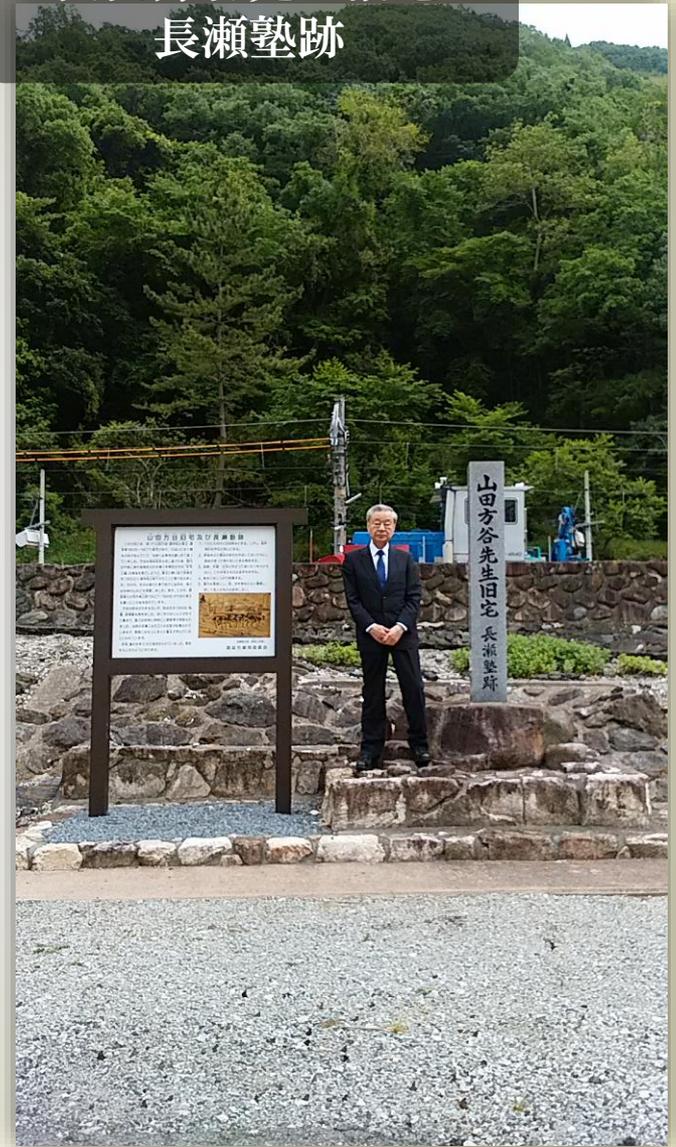
陽明学者 山田方谷翁



1. 経歴 (1)

- 備中松山藩五万石
高梁市 1805年(213
年前)生まれ
- 1877年(明治十年)73
歳没(陽明没後約300
年)
- 4歳で字を書き **5歳**
で新見藩・丸川松隠
塾(朱子学)に入門

山田方谷先生旧宅
長瀬塾跡



1. 経歴 (2)

- 9歳の時 何故学ぶと問われ 治国平天下と
- 15歳の時父が没し 家業の菜種油製造販売を引き継ぐ この十年弱の**商い経験**が後の藩政改革において役に立つ

山田方谷先生家塾
牛麓舎跡



2. 神様・仏様・方谷様

- ① 藩政改革時 野良仕事にいそしむ
農民達が あれは方谷様じゃ
ある者は涙を浮かべ
ある者は手をあわせて平伏する
- ② 農民は【**神**】と奉り 生き神様として
あちらこちらに祠を建立する



3. 儒教の理想

- ① 己を修めて人を治める 人を治めるには
先ずは【己】を修めなければならない
大学・修身→齋家→治国→平天下
【聖徳太子】の憲法17条の骨格
- ② 論語に 義をみてせざるは勇なきなり
武士道を突き詰めると 儒教に行き着く



4. 貧しい生まれの方谷

- ① 百姓の子として生まれるが
二十年以上の学問で会得した悟りは
【誠意】と 君は民のために存在する
- ② 学問修行を続け 伝習禄の原書を
中国から手に入れ 熟読し
陽明の思想を会得する



5. 方谷の理財論

綱紀を整え政令を明らかにするのが【義】
餓死から逃れようとするのが【利】

君子は 義を明らかにして利を計らない
義を明らかにすれば利は
後からついてくる 【義利合一論】を説く
後の渋沢栄一の 論語と算盤に



6. 時代遅れの武士道

- ① 無為徒食の武士は 汗水流す【**百姓**】から年貢を搾り取ることしか考えない
- ② 役人は役得の【**賄賂**】を当たり前に懐に入れ 農村を巡回する際の酒席接待を当たり前としていた



7. 資本主義 (1)

① 資本主義(金本位経済)は 洋の東西を問わず 古代から存在していた

方谷は【**儒教**】から 資本主義を学び
根本原理を熟知する

方谷革命の謎を解明するキーワード



7. 資本主義 (2)

- ② 中国五千年の歴史は 栄枯盛衰の
要因となる【貨幣経済】の 政治経済の
手引き書であり教科書

- ③ 江戸時代の経済基盤は★米本位経済
商業が発達してくると 資本主義経済
に翻弄され 豪商豪農の台頭を招く



8. 改革の切り札 鉄と銅 (1)

- ① 改革3年目で 借金を全額返済し
後の3年で 借金と同額を蓄える
方谷が【**理財の天才**】といわれる所以

上杉鷹山・長州藩・薩摩藩？



8. 改革の切り札 鉄と銅 (2)

- ② 儒教や易経等から学んだ歴史観と
独自の直感力としかいいようがない
【洞察力】は
尊王攘夷の志士達が 倒幕を騒ぐ
十年前から 幕府の【崩壊】を見通す



9. ケインズの経済理論

ケインズ理論の先駆け者が
理財の天才・山田方谷翁
一世紀前に備中松山藩で実践



歴史に学ぶ維新の道

ディー・ピー・エス友の会
夏の経営セミナー

ご静聴有り難うございました。

開業・経営リスクマネジメント
株式会社ディー・ピー・エス
代表 齋藤 忠

